主要地方道 松江木次線 東忌部工区

改良の目的

現在の松江木次線の松江市 - 雲南市境界付近は、忌部川に沿って急カーブが多く、急勾配の坂道であるため、冬季における積雪・凍結によるスリップ事故等の発生が多い箇所です。 また、幅員が狭く、歩道もないため、大型車通行時には、通勤通学の自転車・歩行者にとって大変危険な箇所があります。

この工区を改良することで、雲南市と松江市のアクセス、および山陰道へのアクセス向上、沿道住民の通勤通学の安全確保、通行車両の安全性向上、および、走行時間の短縮による広域的な交流や物流の促進に大きく寄与することを期待しています。

